2026年　11月６日

各　　位

会 社 名　株式会社コシダカホールディングス
代表者名　代表取締役社長　腰　髙　　博
（コード番号：２１５７　東証プライム）
問合せ先　専務取締役 グループCF管掌　土　井　義　人
電話　０５７０－６６６－４２５

北海道白糠町「ソーラーグレージング®」導入のお知らせ

当社子会社の株式会社コシダカは、地球環境の保全に貢献するESG経営の一環として、北海道白糠町にて「ソーラーグレージング®」による追加性のある再生可能エネルギーを導入いたしました。

詳細は下記よりご確認ください。

2026年　11月 6日

北海道白糠町で、需要家・羊農家・発電事業者の「三方よし」を実現する「ソーラーグレージング®」を導入

～沖縄を除く全国エリア店舗への「追加性のある再生可能エネルギー」供給を開始～

当社子会社の株式会社コシダカ（所在地：東京都渋谷区、代表取締役社長：腰髙 博）は、株式会社レクスポート（本社：神奈川県川崎市、代表取締役：粟田 省三）、株式会社まち未来製作所（本社：神奈川県横浜市、代表取締役：青山 英明）との協働により、北海道白糠町にて「ソーラーグレージング®」による追加性のある再生可能エネルギーを導入いたしました。

本設備から創出される年間約50万kWhの電力を北海道エリアの「カラオケまねきねこ」14店舗へ供給開始しました。本取り組みにより、沖縄を除く全国の各エリアへの「追加性のある再生可能エネルギー」の展開を達成いたしました。



太陽光パネル設置土地に放牧されている羊

■導入背景：「追加性のある再エネ」へのこだわり

太陽光発電の普及が進む中、当社は地域の生態系や防災機能に配慮し、自然環境を最優先に保全する持続可能な開発手法を追求しています。当社は、自らの投資によって新規に発電設備を建設し、世の中のクリーンエネルギー総量を実質的に増やす「追加性（Additionality）」を最重要視し、社会全体でのCO_2削減に直接コミットしています。

■ 需要家・羊農家・発電事業者が共生する「ソーラーグレージング」

北海道白糠町で導入した「ソーラーグレージング」は、太陽光発電と羊の放牧を組み合わせた「三方よし」の持続可能なモデルです。

○ 各メリット

需要家（電力を使用する企業）：クリーンなエネルギーの確保にとどまらず、生物多様性の保全や一次産業との地域共生に直接貢献し、高いESG価値を創出

羊農家：土地管理や放牧の受託が農業経営を支える新たな副収入源となるほか、太陽光パネルが天然の日・雨よけとして機能し、羊に快適な放牧環境を提供

発電事業者：羊が敷地内の雑草を食べるため、草刈りや薬剤散布の手間が省け、維持管理コストを削減

■今後の取り組み

コシダカグループは「2030年までに追加性再生可能エネルギー比率30%以上」を目標に掲げ、現在約5%(年間約673万kWh)の導入を達成しています。今後はバーチャルPPAの活用等を通じて、さらなる導入拡大を推進します。

「エンタメをインフラに」のビジョンのもと、持続的にお客様にエンターテインメントを提供するには豊かな地球環境が不可欠です。今後も楽しさの追求にとどまらず、環境に配慮した実効的な取り組みを全社一丸となって進めてまいります。

本件に関する問い合わせ先
株式会社コシダカホールディングス
ブランド広報担当 勝山
Mail:pr@koshidaka-g.com